美術

全学年

次の A～C の課題コースの中から選択してください。

夏休みの期間を使って、ぜひ、じっくりと作品作りや作家・作品研究に取り組んでみましょう。

気軽には触れることのできない材料や画材を手に取ってみてください。いつもはいけないところに本物の作品に出会いに行ってみてください。

絵を描いたり、ものを作るのは苦手だけれど、作品を鑑賞したり、美術作家や美術の歴史に興味がある人はそれを調べレポートにまとめてはどうでしょう。自分なりの美術との関わり方を探してみてください。

さまざまな、美術との出会いがきっとあるはずです。

課題コース A

＜作品制作関連の研究＞

a）模写・模刻

既にある作品から、自分の好きな作品を選び、その作品を忠実に再現したり、作風を写し取ったりすることで、作者の意図を体感してみませんか？

絵画作品でも、立体作品でもジャンルは問いません。時間と根気の要る作業ですが、夏休みを利用し、取り組んでみましょう。

b）技法研究・制作

美術には、様々な技法があります。興味のある技法を取り上げて、その方法を調べて実際に作品を制作してみましょう。

例えば、染色の技法を研究し、研究したことを元に作品を作る。この機会に油絵に挑戦したい、旅行で陶芸体験や吹きガラス体験をして作品を作ったなど、美術の授業ではなかなか体験できない技法に触れ、作品を作ってみませんか。

≪油絵≫

≪日本画≫

≪ボールペン画≫

≪切り絵≫

≪ミニチュアアート≫

≪写生≫

ｃ）素材研究・制作

ペットボトルで何か作れないだろうか？針金でどんなことができるだろう？
紙にはどんな可能性があるだろう？

身近にある素材を使って、また、普段なかなか触れることのない素材について自分なりに研究し、作品制作を行ってみてください。身近にある何かを自分の手で芸術作品にかえてみませんか。

≪石膏≫

≪卵の殻でモザイク≫

≪流木アート≫

課題コースＢ

＜創作絵本・漫画＞

創作絵本：自分で物語を考えて、絵と文章で表現するか、好きな詩又は歌詞を絵本として表現します。

どんな絵本なら手にとってみたくなりますか？どんな絵本があなたにとって魅力的ですか？
誰を対称にした絵本を作りますか？
それぞれの視点で絵本を研究し、本のサイズや紙の材質、綴じ方などを工夫し世界にひとつだけしかないオリジナル絵本を作ってみましょう。

創作漫画：自分で考えた物語を漫画にします。

コマ割りや効果を工夫したり、吹き出しやオノマトペを有効に使い、独自の漫画にしてみてください。

＊　頁数　20 ページ以上
＊　表紙、裏表紙を付け、本の状態に綴じる

課題コースＣ

＜美術に関する研究＞

ａ）美術作家研究

教科書で見た作家の作品をもっと見てみたい。好きな作家がいる。この機会に美術作家について調べてみませんか？作家の人生や美術や作品制作についての考え方、どんな作品を作っていたのかなど一人の作家を取り上げて深めてみてください。

ｂ）美術作品研究

作品研究というと難しそうですが、例えば、好きな作品がある、美術館で見た作品が忘れられない、この作品はどのように見たら良いのか、西洋絵画の宗教画はどんなことが描かれているのか、など、美術作品に関連する興味・関心からスタートしてみてください。

作品を実際に見て分析したり、文献で調べたりすることで、作品についての理解を深めることができます。さらに、その鑑賞方法について、どんな見方ができるのか提案することもひとつの作品研究です。

c）美術に関する歴史の研究

日本の美術史や西洋美術史に興味がある、油絵はいつ、どこで、どのように描かれるようになったのか、陶器の歴史について、漫画の始まりはいつなのだろう、など、美術に関連した歴史に興味を持った事柄に取り組んでみましょう。自分なりの年表を作ってみるのも良いかもしれませんね。

≪美術館レポート≫

＊　本物の作品を見ることをお勧めします。
＊　レポートのみで構いません。写真や資料を添付して、わかりやすくまとめてください。

全課題コース共通

＊　作品と研究・制作過程を必ずレポートにして提出してください。
＊　自分自身の言葉で、作品制作や研究した成果、感想をまとめてください。
＊　参考文献や調べたHPのアドレスもあれば必ず明記してください。

《作品制作、研究の取り組み例》

課題コースA	・好きな絵本を自分なりに挿絵をつけて再編集する
	・スケッチブックに絵を書き溜めて歌詞をつける
	・ポップアップの絵本に話をつける
	・英語の歌を絵で表す
課題コースB	・好きな作品の模写
	・油絵、水墨画、風景画、切り絵など技法への挑戦
	・染色、ガラス、陶芸の体験教室参加とレポート
	・切り絵・立体切り絵
課題コースC※	・漫画の歴史についての研究（京都国際漫画ミュージアム）
	・夏休み中の旅行を利用して、美術館、アートイベント巡りと鑑賞レポートを冊子にする

※今年度は感染症の影響により、人と接触する形での運動、フィールドワーク、インタビューは避ける必要があります。
できる範囲での調査・研究を考えながらやっていきましょう。
お家の人とも相談しながら取り組んでください。